

県立広島病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、医療の進歩向上と国民の健康増進を目的として、下記の研究を実施しております。不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

①情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	小児鈍的肝外傷および脾損傷の自然経過と診療パターンの検討；多施設後ろ向き観察研究
	実施予定期間	倫理審査承認後（2020年12月8日）～2024年8月
	研究の概要	近年、小児においては鈍的外傷による肝損傷および脾損傷の治療法は非手術的治療が一般的で、その成功率は90%以上です。その一方で、非手術的治療が成功した症例では仮性動脈瘤を形成することがあり、破裂した場合は致命的になりうるが自然に血栓化されて自然治癒したという報告もあります。外傷後のフォローアップにCT検査が施行されることが多く、放射線被爆の問題があります。16歳以下の小児で、鈍的外傷にて入院治療を受けた肝損傷および脾損傷患者さんを対象に、多施設における自然経過と診療パターンの後ろ向き観察研究を行います。
	研究実施科	（院内）救急科
	対象患者	2008年1月1日～2019年12月31日までに、当院を受診され、鈍的外傷による肝損傷あるいは脾損傷で入院された16歳以下の患者さんを対象にします。
②利用、又は提供する試料・情報	通常診療で取得した、年齢、性別、生年月日、既往歴、バイタルサイン、検査データ、放射線被ばく量、治療、経過、合併症等の情報を研究WEBサイトに登録します。個人が特定される情報は提供しませんので、個人情報保護されます。	
③利用する者の範囲	日本外傷学会が実施主体であり、次の救急医療施設が参加 【研究代表者】 沖縄県立中部病院 外科 桂守 弘 【研究参加施設】（一部抜粋） 順天堂大学医学部附属浦安病院 救命救急センター 近藤 豊 東北大学病院 高度救命救急センター 久志本 成樹 谷河 篤 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科 安田 英人 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 中尾 俊一郎 北海道大学病院 救急科 早川 峰司、川原 翔太 岡山大学病院 高度救命救急センター 湯本 哲也 内藤 宏道 【当院責任医師】 救急科 部長 日下 あかり 【当院研究分担医師】 主任部長 楠 真二ほか救急科の医師	

④情報の管理責任を有する者	沖縄県立中部病院 外科 桂守弘（提供方法：Web 登録） データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。	
⑤試料・情報の提供停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、自身の情報を研究目的に利用されることを希望されない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。	
⑥ ⑤の受付	⑤について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 救急科 部長 日下あかり TEL：082-254-1818
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		